

## 第1回談話室

日 時：6月3日（月）13～15時

場 所：アミューあつぎ 活動室

参加委員：和智・濱田・林

参加者：会員8名 非会員1名

### ■Aさん 50代 女性

N病院を一度受診。右側が臼蓋形成不全による変形性股関節症との診断。  
体操・マッサージ・針などで痛みを緩和している。病院探しをしている。

〈アドバイス〉

お住まいを考えるとZ病院やK病院などから自分に合った先生を探してはどうか。

### ■Bさん 50代 女性

右側が変形性股関節症。リハビリやプールで保存療法をしている。  
眠れないほど痛いことはないが手術をしようか迷っている。

〈アドバイス〉

同好会の体操教室などを活用して情報交換してみてもどうか。

会報に載っている代表者へ連絡して一度見学することをお勧めします。

### ■Cさん 70代 女性

両側未手術。初期。変形は殆どみられない。日常生活に困ることはない。  
年齢的に術後のリハビリが心配。手術時期や決めてがわからない。

〈アドバイス〉

良い状態で保存されているので今のところ無理に手術しなくても良いのではないかと。

医師の意見を聞いて、手術をするもしないも決めるのはご本人です。

### ■Dさん 50代 女性

両側未手術。初期。眠れないほど痛くはないが外出時に痛みが出る。  
現在の状態をキープしたいのでどのような保存療法が良いか。保存的リハビリをしたい。

〈アドバイス〉

保存療法のリハビリを積極的に受けてくれる病院は少ないのが現状。

状態が悪くなければ尚のこと難しい。しかし自己流でリハビリをやるのは危険。

開業医などでPTを探すのもひとつです。

■Eさん 50代 女性

高位脱臼で脚長差があり幼い頃にギブスをしていた。

仕事中に痛みで歩けなくなり退職。復帰後も痛みを襲われ救急車で搬送。

急な痛みが不安なので、どのような職についたら良いのか相談したい。

〈アドバイス〉

仕事中の痛みについて、抜本的な解決方法は手術が有効かもしれない。

現在、診察を受けてリハビリしている病院で相談指示を受けていくのが良いと思います。

ヒアルロン注射は深いところに針を刺すので感染症などのリスクが伴います。

■Fさん 50代 女性

昨年6月から痛み出し右側が臼蓋形成不全と診断。

仕事で無理をしていたら家の中でも歩けない状態になり仕事をセーブ。

外出の際は杖も使っても半日すると痛くて歩けない状態。

専門医にかかったことがないのでアドバイスが欲しい。

〈アドバイス〉

のぞみ会「専門医からのメッセージ」の冊子を参考にし、専門医を受診して下さい。

■Gさん 50代 女性

左側RAO。右側 未手術 骨董骨折で治るのに1年かかる。

5年前から右膝裏が痛み出し立ち上がる際にふんばりがきかない。運転するのも心配。2年前にヘルニアから脊椎間狭窄症が見つかり右の下肢（軸足）の特に右足首下が痺れている。

サポーターを巻き痛み止めを飲んでいる。プールも行っている。

手術のタイミング、関節・膝・鼠径部の痛みの緩和など情報を知りたい。

〈アドバイス〉

まずは股関節専門医を受診して治療方法の診断を下さい。

■Hさん 60代 女性

50代で両側人工股関節にしたが思うように良くなっていない。レントゲン上に問題がなければ成功ということになるらしいが、筋肉に引きつりがある。

〈アドバイス〉

引き続き、情報を得るようにして下さい。

■Iさん 40代 女性 非会員

会員より紹介を受け談話室に参加。13年前に左側末期の診断を受けRAO。

人工股関節も視野にいれているが手術を先延ばしたいためリハビリを頑張っている。

〈アドバイス〉

会員の申込は本部（ホームページからも可能）に問い合わせして下さい。